

相性のいい温泉

愛媛県立宇和島高等技術専門校の鈴木康弘先生からバトンを受け取った岡山県の夏目です。訓大（現能開大）同期の鈴木先生は、学生のと時から朗らかで、今でも何かと相談にのってくれる優しい情熱のある好青年（広く30代を含めていう場合もあるらしい）です。同じ中四国地方にいるものの、宇和島にはいまだ足を踏み入れておりません。今度、落ち着いたら遊びに行くから、おいしいミカン、期待してるで～。

瀬戸大橋の架かる岡山は、白桃・白鳳系の桃やマスクット・ピオーネといったブドウなど、果物が豊富に実り、ミカンで有名な愛媛とともに果物王国として全国に名を轟かせています。気候は穏やかで、天災も少なく、とても住み心地がいいところです。この世界に入って、9年目になりますので、岡山県民歴も足掛け10年を迎えようとしています。今では5人の子宝に恵まれ、子育てに奮闘する毎日をご過ごしています。共働きの核家族ですので、保育園の送迎は職場の近い私が担当していますが、早朝子どもが愚図ったり病気にかかったりすると仕事に影響しますので、親も含めて体調管理には十二分に気を付けなければなりません。休日は「低料金な家族サービス」「リフレッシュ」そして子育てメニューの1つ「子どもをお風呂に入れる」をすべて兼ね備えた効率のいい行事、「日帰り温泉」を楽しみ、多少なりともリラックスができています。岡山には古くから湯郷、奥津、湯原の三大名湯があります。良質なアルカリ性単純泉で（道後温泉もそうですね）、炭酸ナトリウムがほどほどに含まれており、神経痛や肩こりによく効きます。特にアルカリ度が増すと皮膚の角質を溶かすのでツルツルになり、皮膚病にもよく効きます。

アトピー性皮膚炎の娘に合う温泉探しに県内さまざま



な温泉に浸かりました。湯郷は、多数の観光客、湯治客が訪れるアルカリ硫黄泉の名湯で、硫黄のアロマが皮膚に効きそうです。しかし、たくさんの人でごった返している休日に、5人の幼児を引き連れて入浴する（配分は、私が3歳の双子の娘と1歳の娘、家内が5歳の娘と1歳の息子）のは、物理的、精神的に困難であることは容易に想像していただけたと思います。湯原、奥津は岡山市の家からは遠く、度々行ける範囲ではありません。距離、混雑具合、リラックス効果、そしてアトピー効果のすべてを満たす温泉がベストで、それが加茂川町の小森温泉なのです。

薬に相性があるように、ここが娘には相性のいい温泉で、不思議と肌荒れがツルツルになるは、かく度合いは少なくなるはで効果がきめんです。まさに温泉パワーは凄いなあと家族みんなで共感しています。

さて、次のリレートークは兵庫県立姫路高等技術専門学院の真利弘先生です。訓大の同期生で、育児のプロとして、仕事と家庭をきちんと両立されており、尊敬できる方です。これからも家族ぐるみで仲良くしてくださいね。ではよろしくお祈りします。